

講演番号が入りますので、空欄にしてください（インデントタブ設定を変更しないでください。）

大気中親電子物質 1,2-ナフトキノンに対する細胞内活性イオウ分子の防御的役割

○東北 太郎¹, 医薬 花子¹, John May²
(¹東北医薬・薬, ²東北大・薬)

タイトルはゴシック体 (14 ポイント) で作成してください。英文字は Helvetica または Arial をお願いします。行間は 16 ポイントです。変更しないでください。

【目的】大気中親電子物質である 1,2-ナフトキノン (1,2-NQ) は細胞内において反応性システイン残基を有するセンサータンパク質と容易に共有結合を形成し、

【方法】ヒト気管上皮由来BEAS-2B細胞を用い、

【結果および考察】BEAS-2B細胞を1,2-NQに曝露した結果、

タイトル以外の所属・氏名及び本文は、明朝体 (12 ポイント) で作成してください。英文字は、Times ないし Times New Roman を使用してください。行間は、14 ポイントになっていますので、変更しないでください。

Role of reactive sulfur species in protection against 1,2-naphthoquinone-induced cytotoxicity in human bronchial epithelial BEAS-2B cells

○Taro Tohoku¹, Hanako Iyaku¹, John May² (¹Fac. Pharmaceut. Sci., Tohoku Medical and Pharmaceutical Univ., ²Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Tohoku Univ.)

1,2-naphthoquinone is an atmospheric electrophile-----

